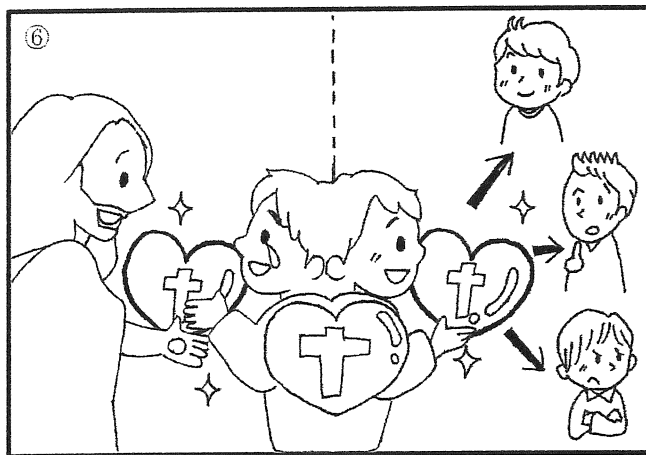
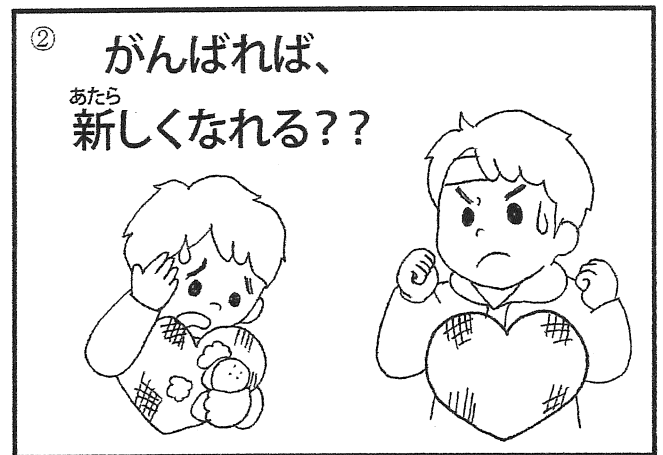
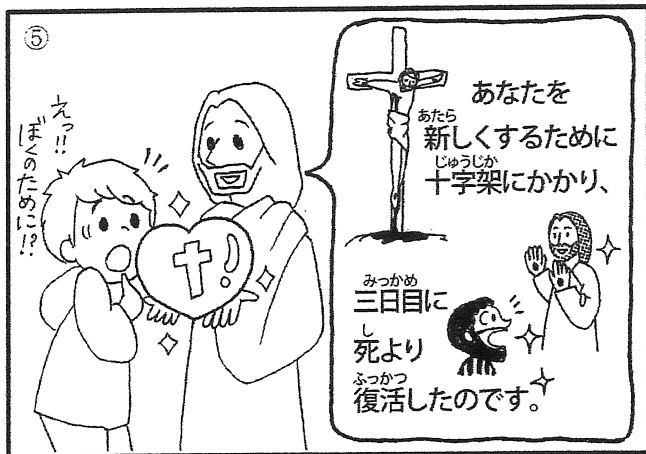
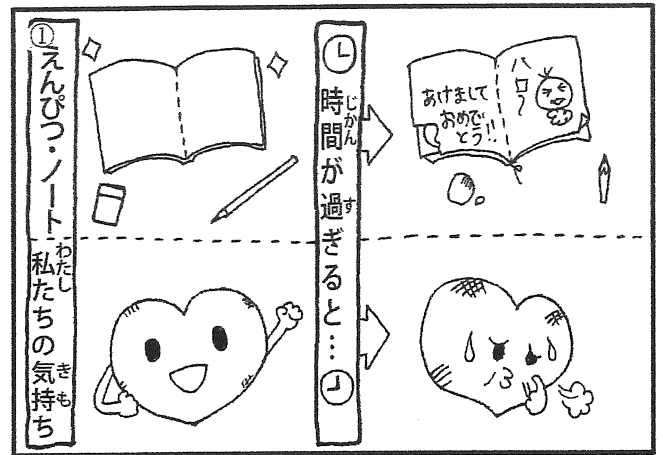
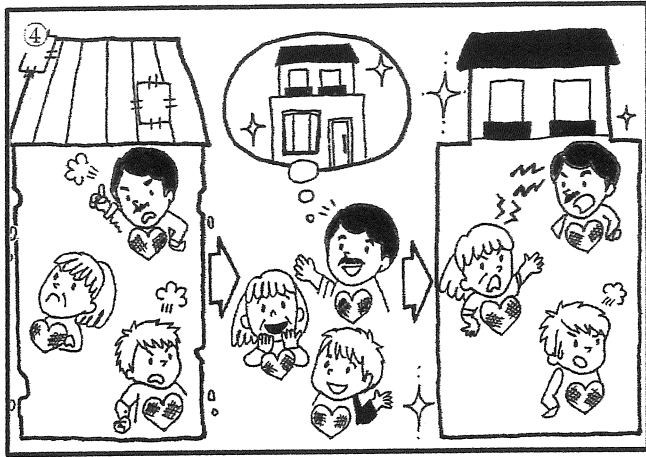


1月1日 私の助けはどこから 詩篇 121・1～8

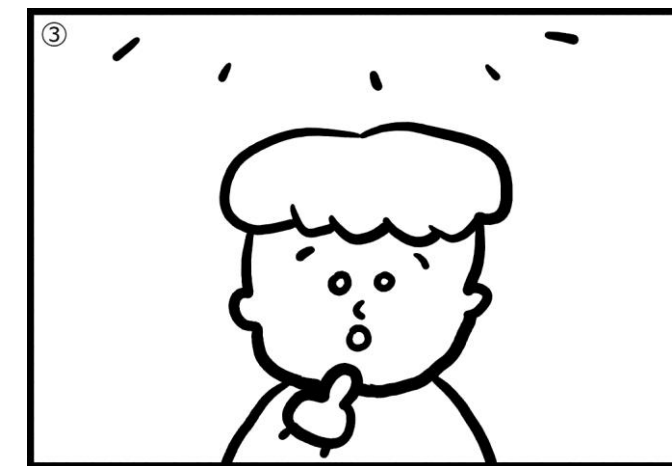
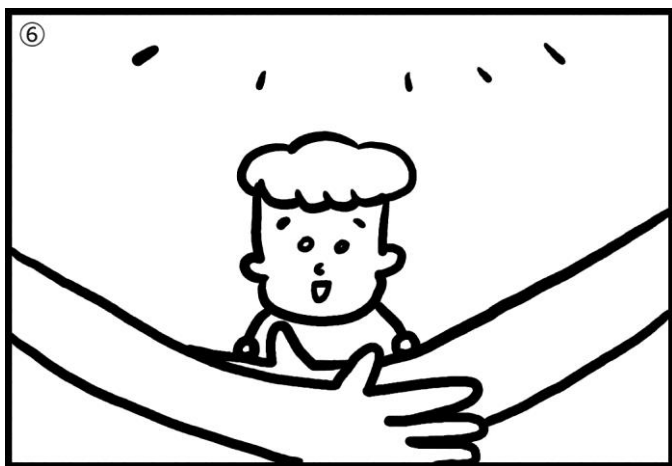
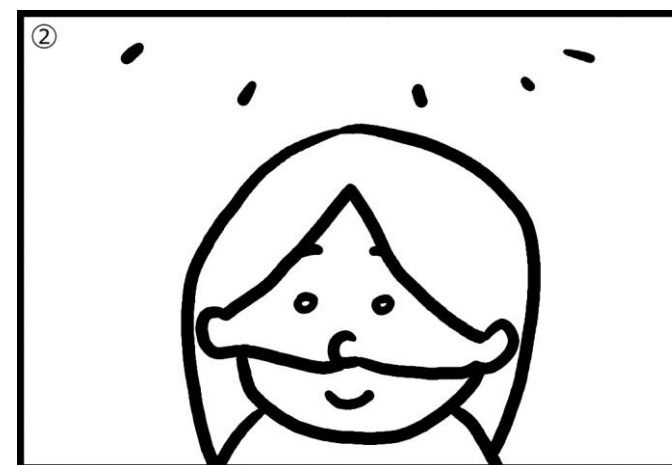
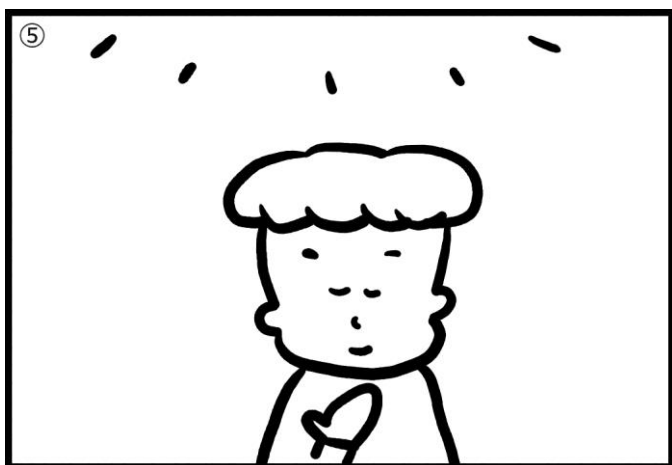
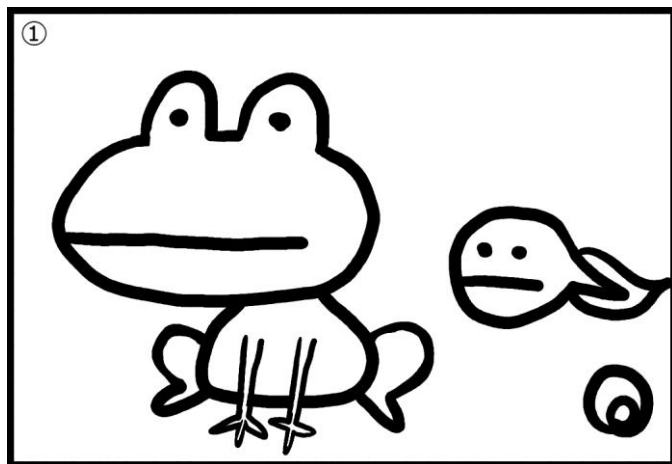
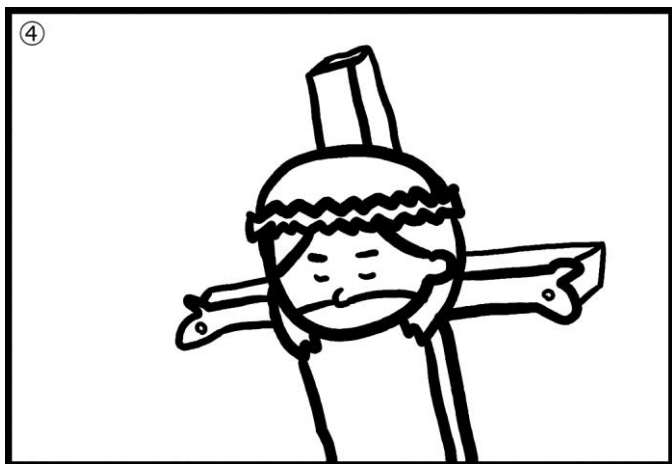
1. 私たちは、怖い時、不安な時、困った時、どこに助けを求めましょう？
2. 私たちの一番の最大の助けは、主なる神様から、そしてイエス様から来る！どんなピンチの時も、まず神様に祈る。天地を造られた神様は、どんな事だってお出来になるのです！
3. 神様は、昼でも夜でもどんな時でも、一瞬も居眠りをする事も無く、あなたをいつも見守っておられる、と語られています。
4. 今の時代は特に、色々な大変なことがあります。戦争も起きてしまい、偽物の教会が人々を騙したりもしますし、大雨、大地震、大噴火、色々な災いがあります
5. 「すべてのわざわいからあなたを守り」と約束されています！ちゃんと乗り越えられるように、イエス様が共にいて必ず守ってくださるのです！イエス様の十字架によって神のこどもとされた私たちのたましいは、天地が滅びても絶対に失われる事はないのです！
6. 人生は「旅」、私たちは天の故郷・ゴールを目指す「旅人」です。皆さんが中高生になっても、大人になってもずっと、イエス様は私たちの人生の旅路を守ってくださるのです！



1月8日「新しく造り変えられる」Ⅱコリント 5・13～19

1. 時間が過ぎると、鉛筆やノートが古くなるように、私たちの気持ちも変わってゆく。
2. 自分の努力で、新しい自分になろうとしている。
3. 自分の力では、新しくなれないと知った。
4. 仲の悪い家族の話。家が新しくなっても、心は変わらない。
5. イエス様の十字架と復活は、自分が新しくされるためであると知った。
6. イエス様に新しくされると、イエス様を愛し、お友達を愛する生活になる。

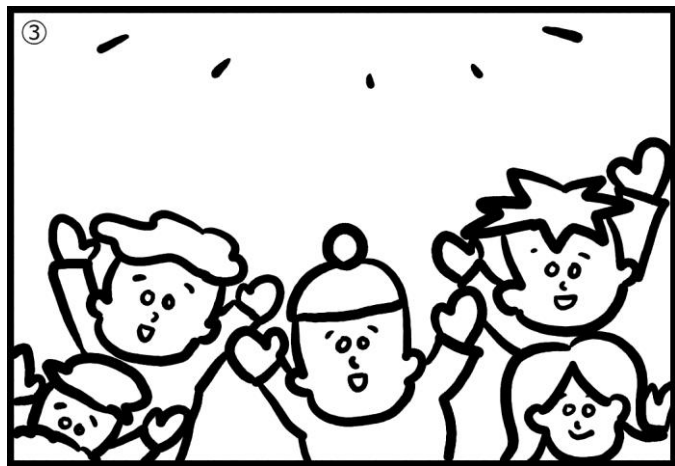
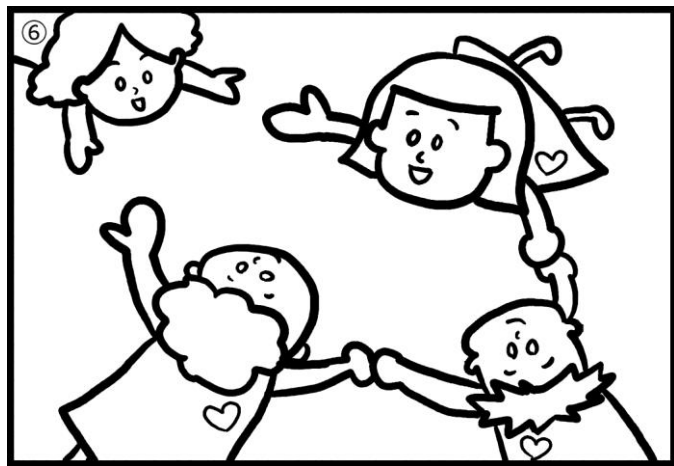
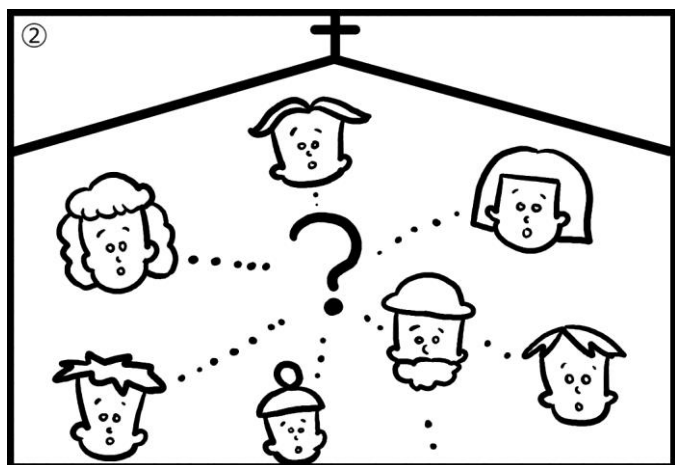
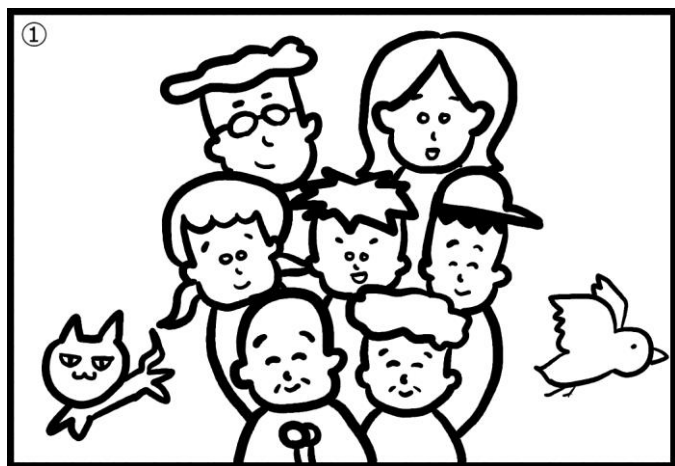
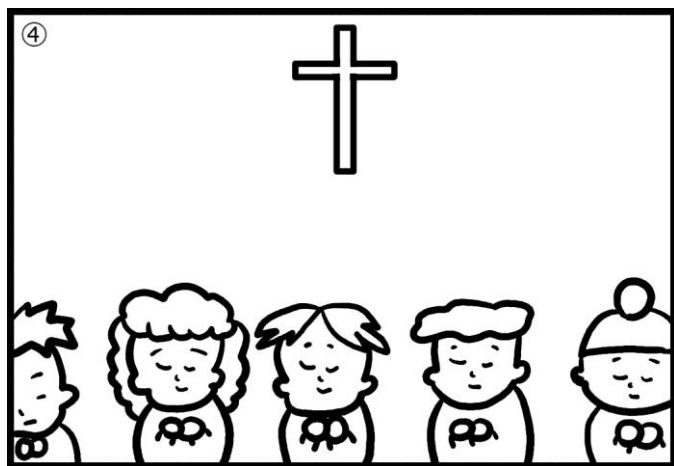
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



1月15日 「神の子として」 Iヨハネ5・1～5

1. おたまじゃくしはかえるの子
2. イエス様は神の子
3. でも、神様はイエス様を信じる私たちのことも神の子にしてくださいました。
4. 神様は、私たちを罪から救うために、御子イエス様を身代わりとして十字架にかけられました。
5. イエス様を救い主と信じ、神様の言葉を守る人はみな、神の子です。
6. 神様は私たちを愛してくださっています。

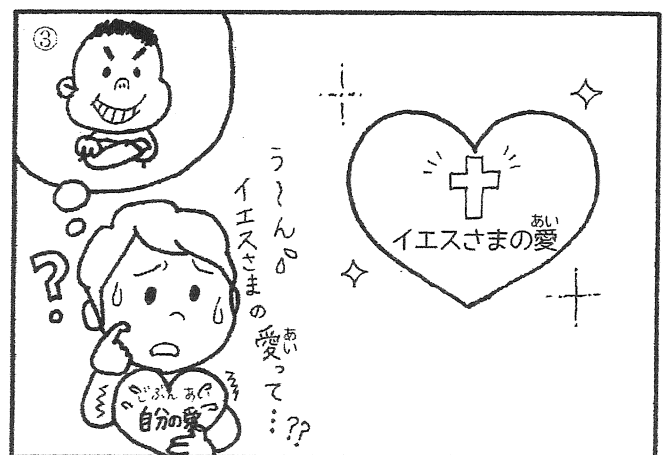
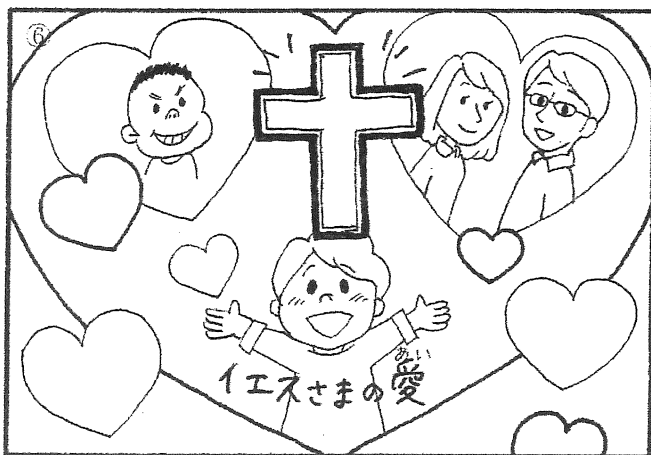
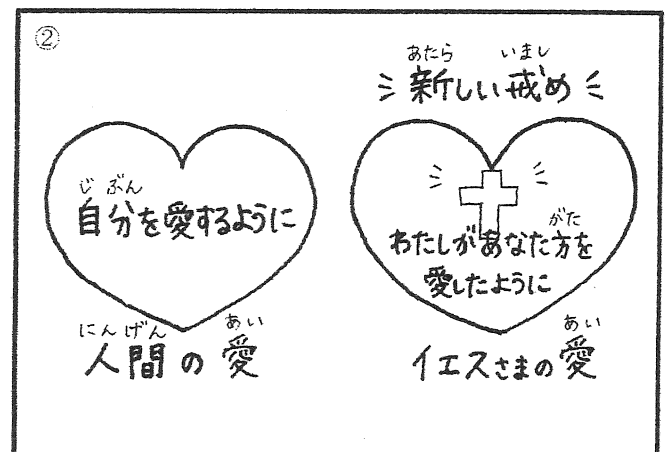
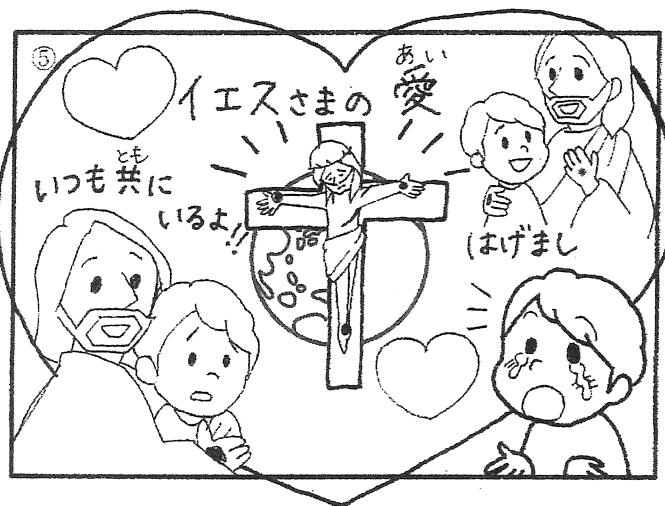
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を 200%拡大し、更に 141%拡大する。A3サイズは 200%拡大し、更に 200%拡大。



1月22日 「神の家族とともに」 エペソ2・19～22

1. 家族とは、結婚や血縁で結ばれた関係です。
2. では、神の家族とは、何でつながれた家族なのでしょう。
3. まず、神の家族とは、天のお父様の子どもたちということです。
4. 次に、神の家族とは、イエス様のお名前によってお祈りできる者たちということです。
5. 3つめに、神の家族とは、聖霊によって永遠の命を与えられた者たちということです。
6. 神様の願いは、世界中のすべての人が神の家族となることです。

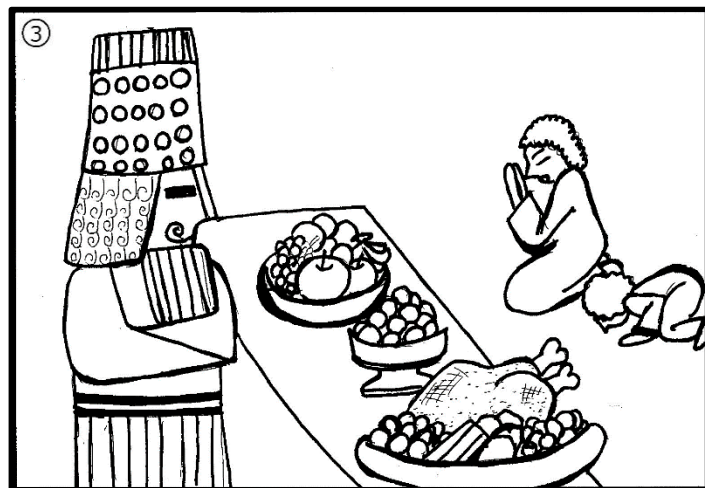
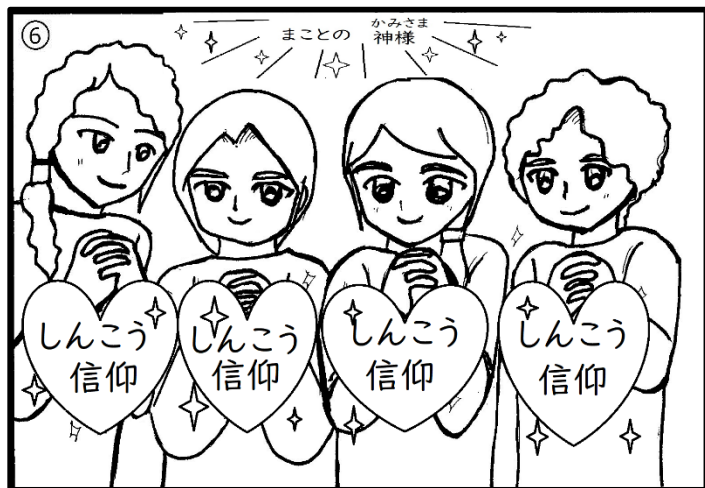
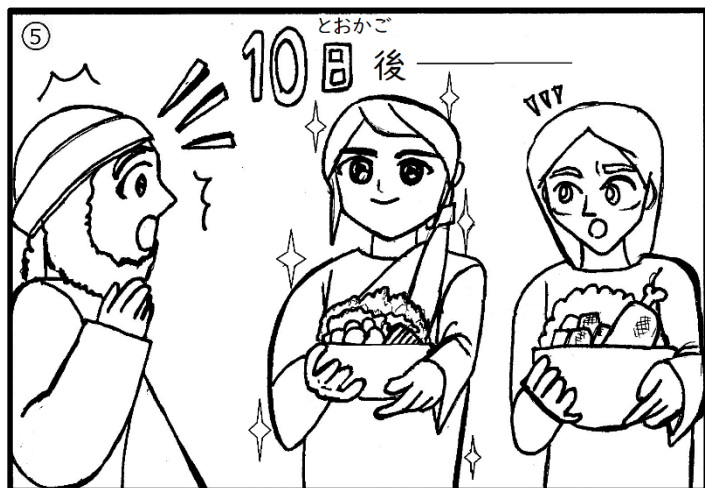
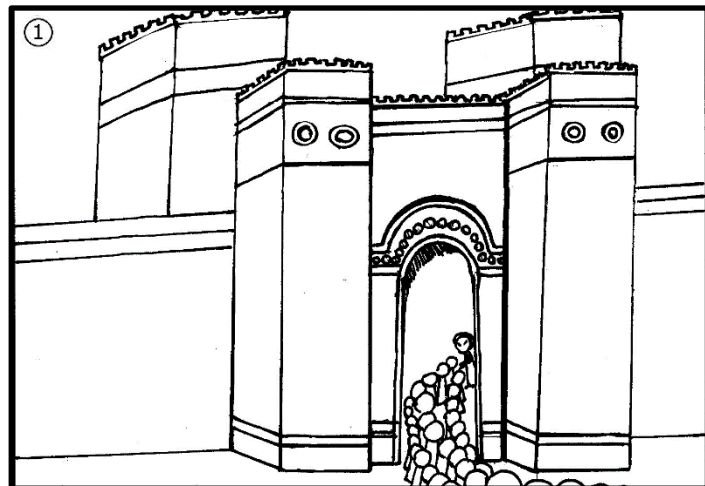
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を 200%拡大し、更に 141%拡大する。A3サイズは 200%拡大し、更に 200%拡大。



1月29日「互いに愛し合おう」 ヨハネ 13・34～35

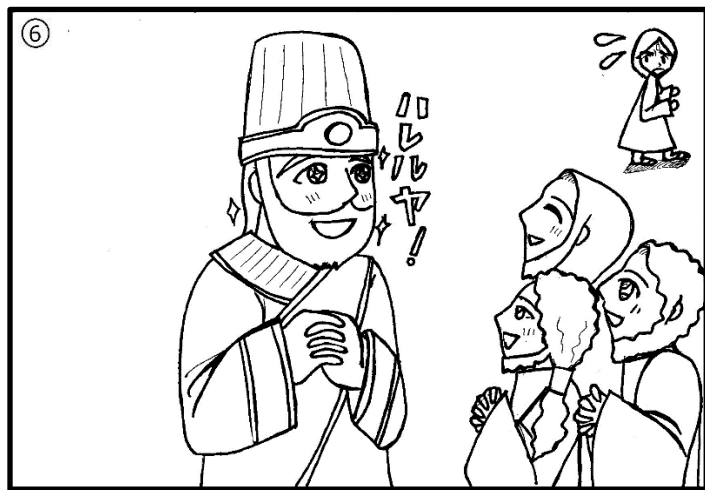
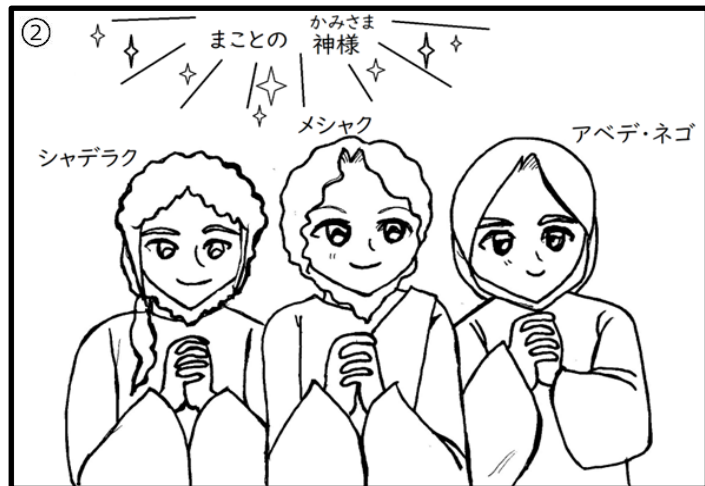
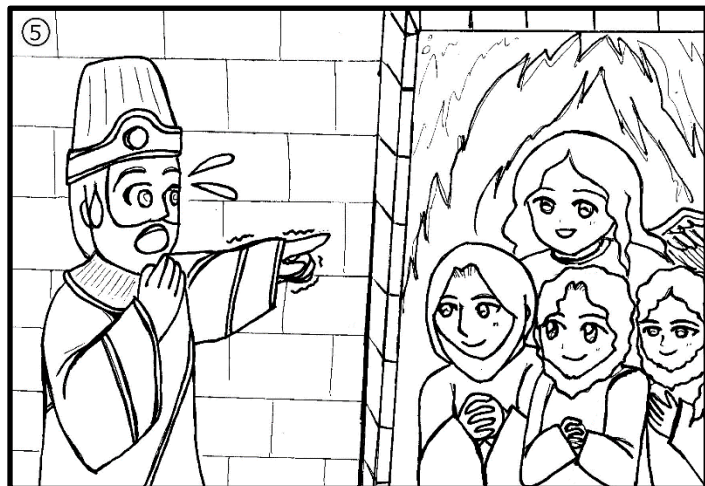
1. 新しいいましめを与えるイエス様。
2. 旧約聖書にある愛しなさいの基準は人間の愛。新しいいましめの基準は、イエス様の愛。
3. 嫌な人の顔が浮かび、愛することを悩む男の子。
4. 自分には愛する力がなく、「神様、助けてください」と祈る男の子。
5. イエス様がどのように愛して下さったかを思い出す男の子。
6. イエス様の愛を知り、イエス様の愛の中で、お友達や家族を愛する男の子。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



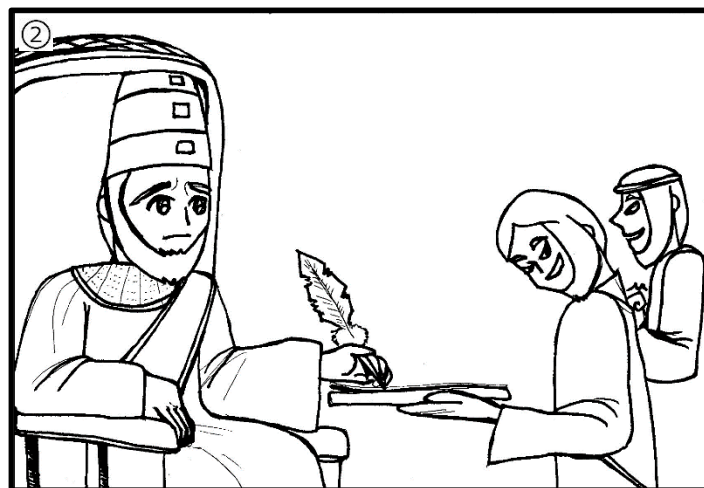
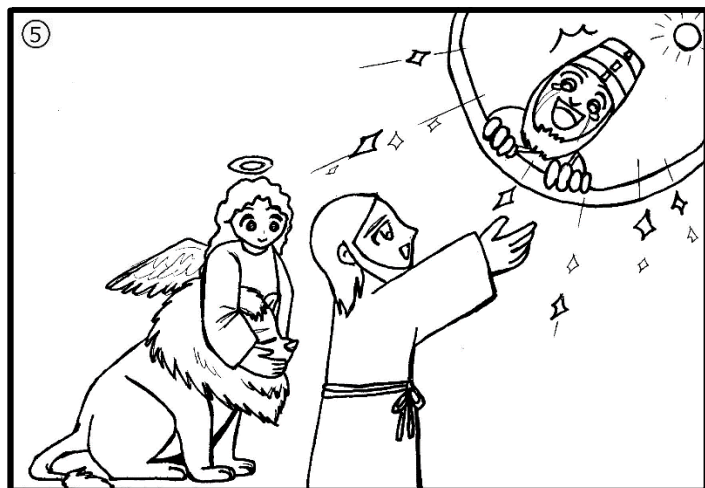
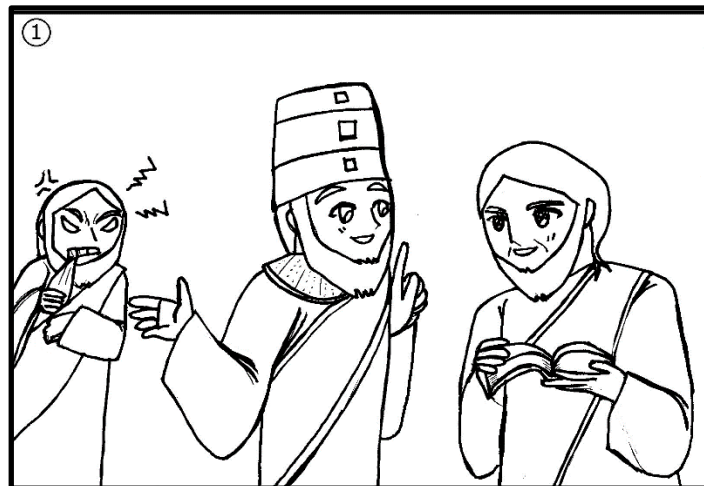
2月5日 ダニエル① 汚れから離れる ダニエル1・8～16

1. 南ユダ王国は造り主なる天の神さまから心が大きく離れ、好き勝手に偶像を拝んだり、お金や欲に心がいっぱいになり、ついにバビロン王国の王ネブカドネツアルの軍隊が攻めてきて、ユダ王国は滅んでしまったのです。ユダの人々は自分の国を離れバビロンという外国に連れて行かれてしまいました。
2. バビロンの王さまの命令でユダの人々の中から、特別に知恵があり、役に立ちそうなすぐれた若者たちが選ばれました。その若者たちの中にはダニエル、ハナンヤ、ミシャエル、アザルヤがいました。
3. 王さまが食べるごちそうやぶどう酒から毎日彼らが食べる分がわりあてられました。けれどもそれらは偶像にささげられた後の食べ物でした。
4. ダニエルたち4人は、神さまのまえに忠実な若者だったので、自分たちの世話役の長に「そのようなごちそうを食べて身を汚さないようにさせてください」とお願いしました。
5. 10日が過ぎて、不思議なことにダニエルたち4人の顔色は、王のごちそうを食べているどの少年よりもつやつやとし、からだつきも立派だったのです！ 世話役も納得しました。
6. こうして彼らは神さまのまえに汚れているものから身をさけ、外国にあっても自分の大切にしている信仰をつらぬくことができました。



2月12日 ダニエル② 三人の若者たち ダニエル3・8～25

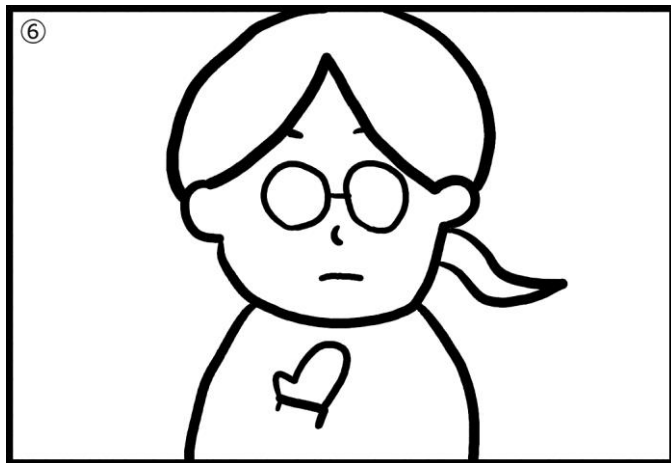
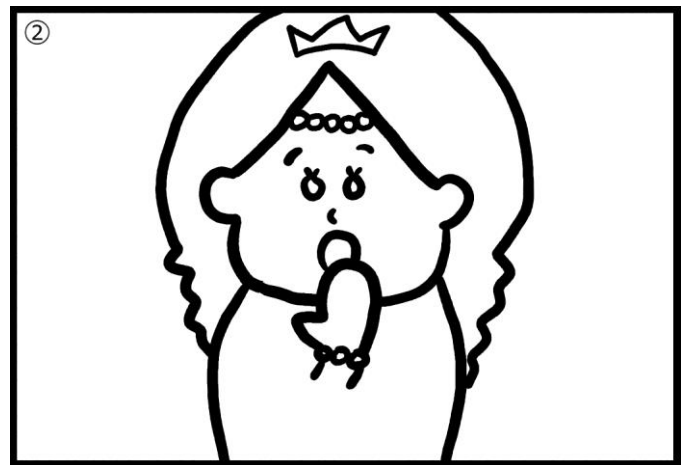
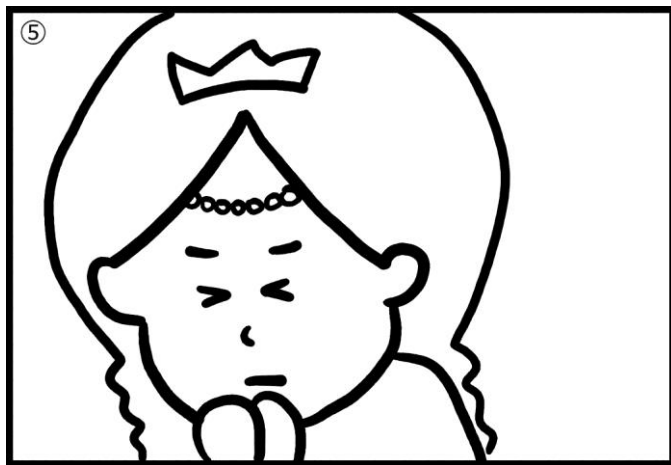
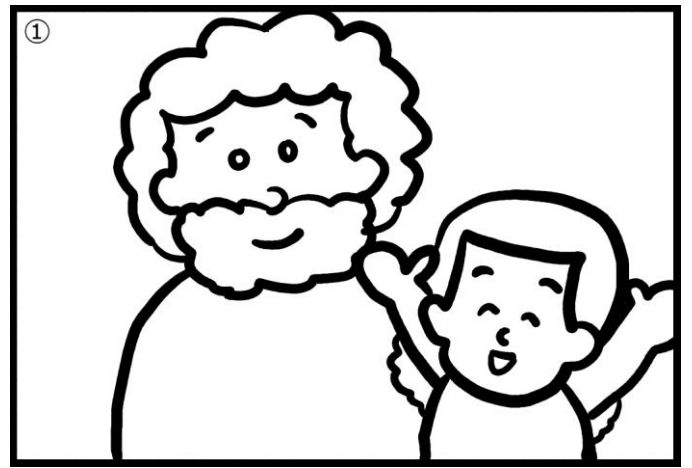
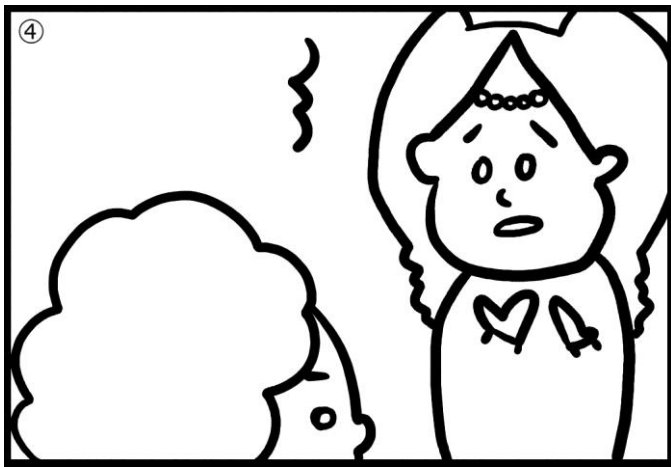
1. ネブカドネツアル王さまは、国民をひとつにし、自分の力が強大であることを知らせるために金の像をつくりました。そして王さまに仕えるすべての役人たちを集めました。王さまの命令が高らかに伝えられました。
2. 王の命令に従わなかった人たちの中でシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴという3人のユダヤ人がいました。南ユダ国から連れてこられた、まことの神さまを信じ恐れる人たちでした。
3. ネブカドネツアル王はカンカンに怒りました。
4. 3人は服を着たまましばられ、火の燃える炉に投げ込まれてしまいました。しかもいつもより7倍も温度を熱くさせたのです。
5. 王さまは思わず目をこすって炉の中を見ました。「わたしには火の中に4人の人たちが見える。」まったく火は3人におよんでおらず、髪の毛も服も火のにおいさううつっていません。
6. あんなに怒っていた王さまでしたが一転！ 3人が信じるまことの神さまをほめたたえ、「このように救い出す神はほかにはない」と言いました。それから王さまは3人をバビロンの国の大切な仕事のために用いました。



2月19日 ダニエル③ 獅子の口からの守り ダニエル6・1～24

1. ダニエルは神さまの霊がゆたかに与えられていたので、ほかのだれよりもかしこく才能がありました。それで新しい王さまのもとでも大切な役目をおおせつかり、全国を治める人として任命されたのです。
2. おもしろくないほかの大臣たちは王さまのところに押しかけてきて言いました。王さまはその文書に名まえを書きました。王さま以外に礼拝をしたりお祈りをしたりしたら大変なことになります。
3. ダニエルは家に帰って、屋上に上がりいつものように窓の下で三度ひざまずき、ただおひとりの本当の神様にお祈りをしていました。ダニエルを陥れようとしていた人達が王様のところにやって来て訴えました。
4. 王さまとしては何とか彼を助けたいと手をつくしましたが、とうとうダニエルはライオンのいる穴に投げ込まれることになってしまいました。ダニエルはライオンがいる穴に入れられ、穴は石で封じられました。
5. 王さまは一晩じゅう何も食べず、眠ることもせず、次の朝、夜が明けるとすぐにライオンの穴へとかけつけました。ダニエルのからだにはひとつの傷もありませんでした。
6. 王さまは大よろこびでダニエルを穴からひきあげ、ダニエルの信じるまことの神さまをほめたたえました。

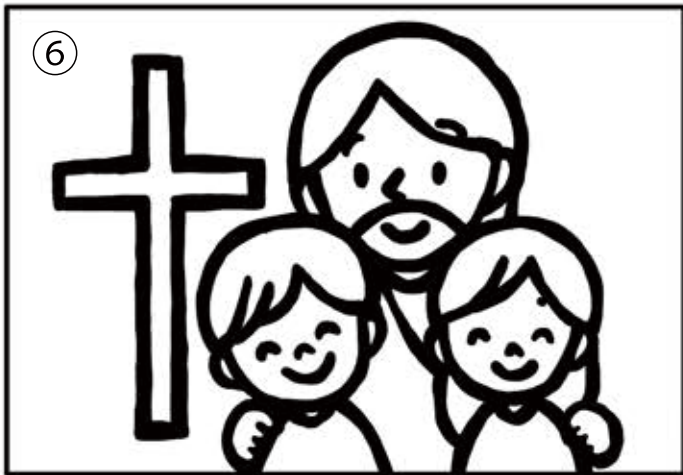
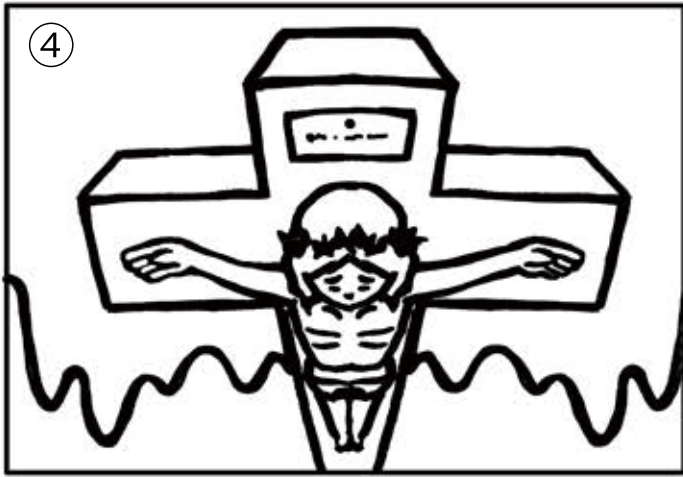
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



2月26日 「エステル」 エステル4・1～17

1. モルデカイは、両親を早くに亡くしたエステルを育てていました。
2. なんと、エステルはペルシアの王様の妃に選ばれました。
3. そんな時、モルデカイはユダヤ人虐殺計画があることを知りました。
4. モルデカイは、王様にこの計画の中止を願うよう王妃エステルに願います。でも王様に会うのはとても難しいことでした。
5. エステルは、3日間の断食の祈りをします。町に住むユダヤ人たちも同じように断食しました。
6. 私たちも、与えられた使命が難しく思える時も、神様のみこころに従って歩いていきましょう。

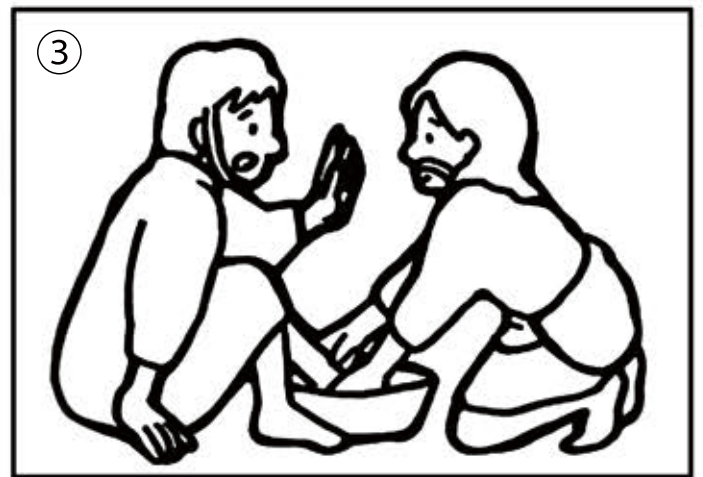
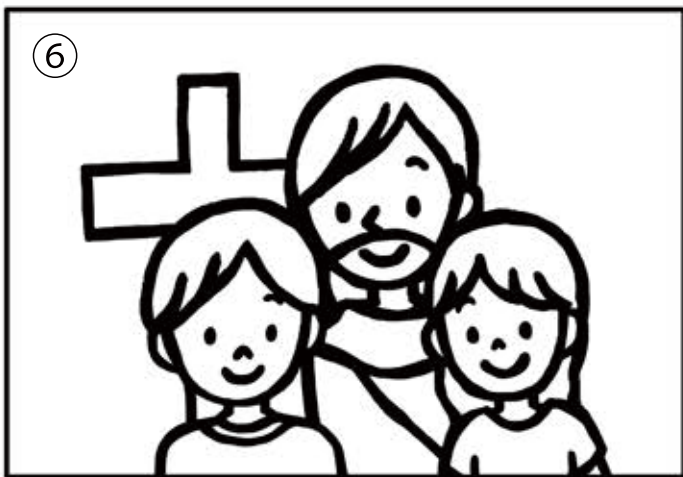
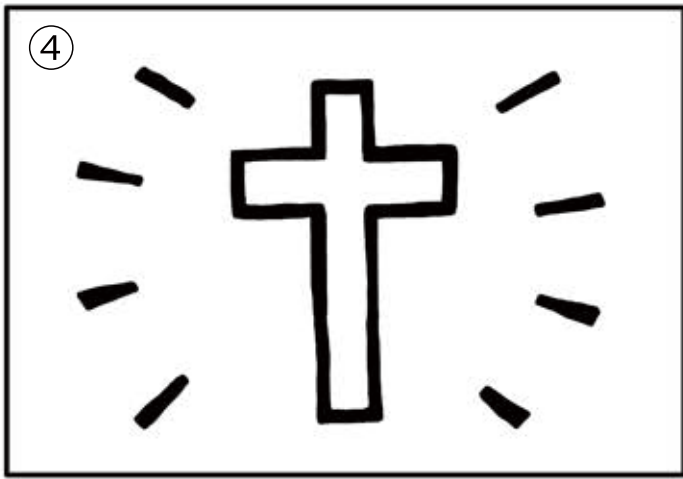
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を 200%拡大し、更に 141%拡大する。A3サイズは 200%拡大し、更に 200%拡大。



3月5日 一粒の麦として ヨハネ12・20～28

1. エルサレムの町は過越の祭りのために各地から大勢の人が集まってにぎわっていました。そのうちのギリシャ人の数名がイエス様に面会を申し込んできました。
2. イエス様は「人の子（イエス様）が栄光を受ける時が来ました。」と言われました。
3. イエス様は「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。」と言われました。
4. 私たちが永遠の死ではなく、永遠のいのちを持つことができるために、イエス様は一粒の麦となって死んでくださったのです。
5. 青函連絡船の転覆事故の際、宣教師たちは救命道具のない夫人たちに自分たちの救命具を渡しました。
6. 自分中心、自分が一番先ではなく、イエス様と他の人たちを愛し、大切にして歩んでいきましょう。

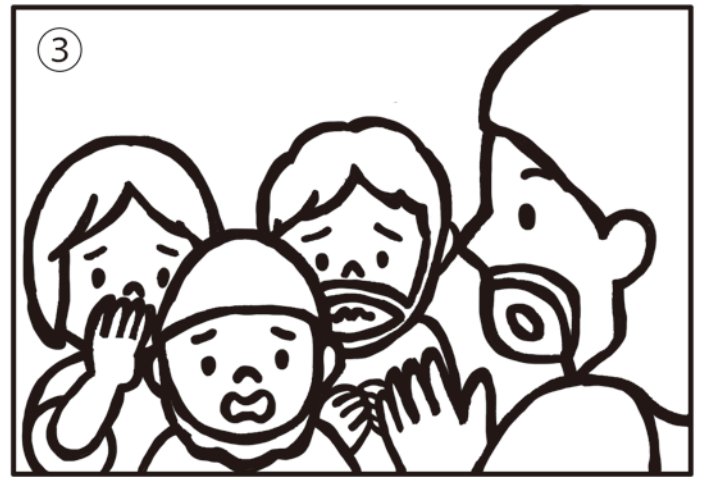
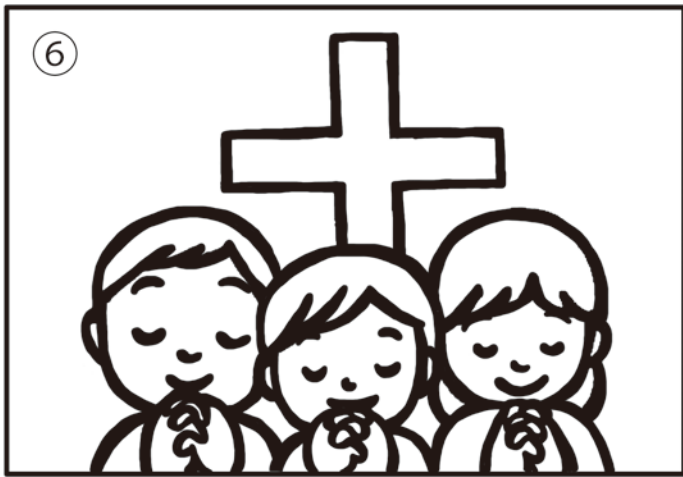
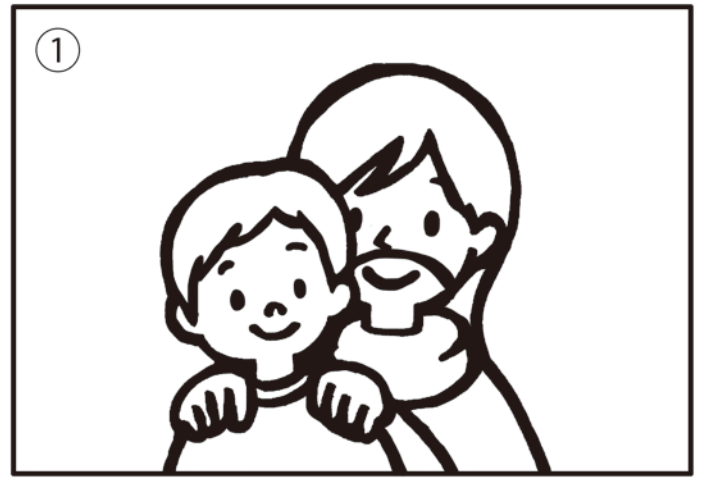
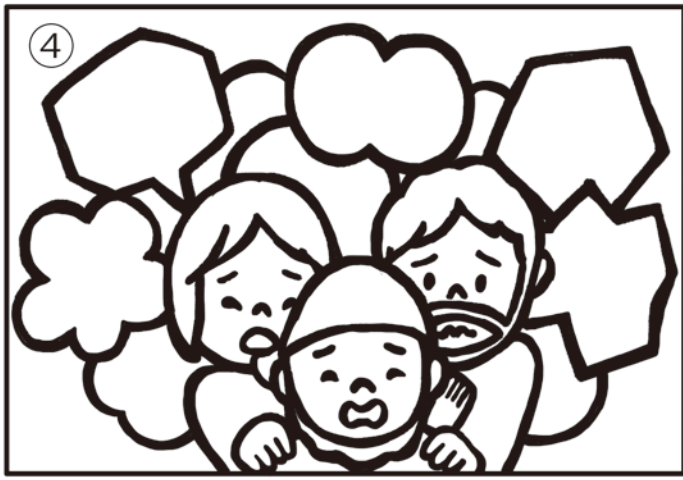
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



3月12日 洗足の恵み ヨハネ13・1～15

1. イエス様は、弟子たちとの夕食会の席で突然立ち上がり、上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰に巻かれました。
2. そして、たらいに水を入れて、弟子たちの足を洗い、腰に巻いていた手ぬぐいで拭き始められました。
3. ペテロは「イエス様！絶対に、私の足を洗わないでください！」と言いました。するとイエス様は「わたしがあなたを洗わなければ、あなたはわたしと関係ないことになります。」と答えられたのです。
4. イエス様が弟子たちの足を洗うことは、これから十字架に架かって、全世界の人たちの罪を背負って血を流し、死ぬことを意味していました。
5. イエス様は弟子たちの足を洗われた後、彼らに「主であり、師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのであれば、あなたがたもまた、互いに足を洗い合わなければなりません。」と言われました。
6. 私たちも、イエス様の十字架をいつも忘れないで、心の中をイエス様の愛で一杯にさせていただいて、周りの家族やお友だちのお手伝いをしていきましょう。

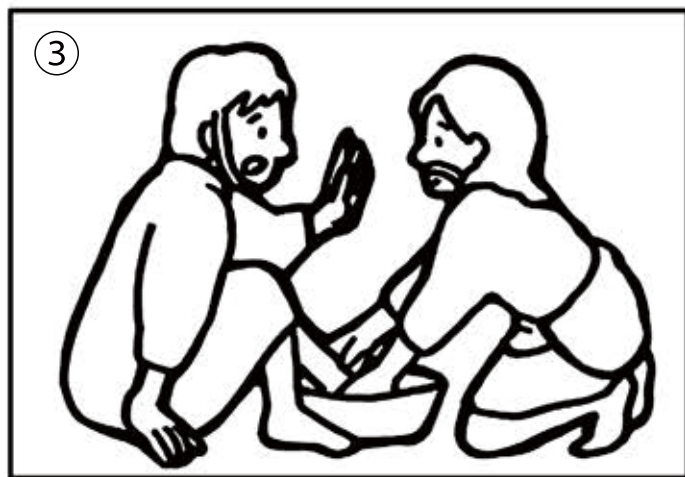
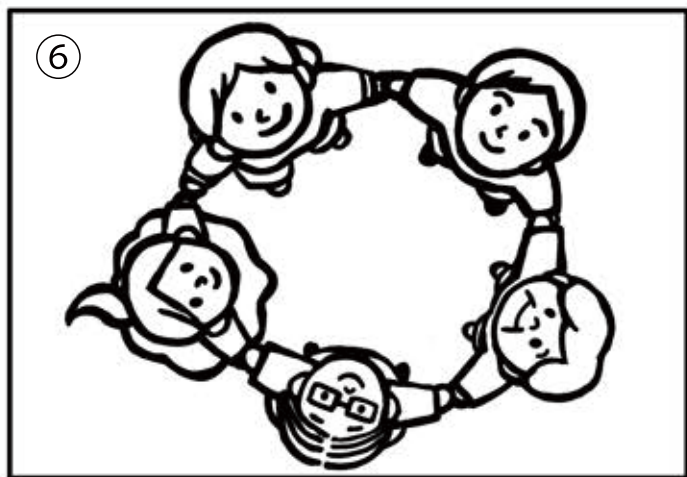
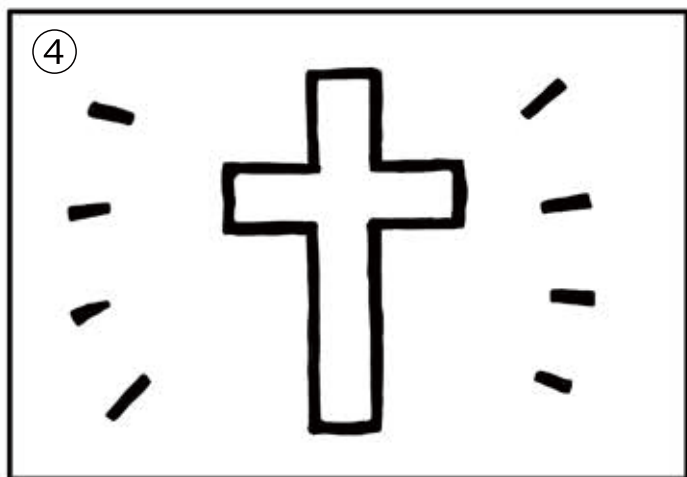
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



3月19日 キリストにある平安 ヨハネ14・27～31

1. きょうお話する「平安」は、神様の思いに従おうとすると、まわりから苦しめられるとき、いちばん心配なときに、イエス様がいっしょにいてくださることです。
2. イエス様はもうすぐ十字架にかかることがわかっていました。イスカリオテのユダが裏切ったこともわかっていました。でも、イエス様は逃げないで十字架にかかることを決心していました。
3. イエス様は弟子たちに大切な話をたくさんしました。その中で、「心を騒がせてはいけません。神様を信じ、わたしを信じなさい」と弟子たちを励ましました。
4. これまで弟子たちができることなんて何もありませんでした。そのイエス様がいなくなるのです。弟子たちにとって、これよりも大きな心配はありませんでした。
5. イエス様は弟子たちの心配をすべてご存じでした。イエス様は、弟子たちにイエス様の平安を残していくとはっきり言いました。
6. 大切なことは、イエス様がいっしょにいてくださることを思い出し、イエス様に心を打ち明けてお祈りし、イエス様の平安をいただくことです。

※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



3月26日 最大の愛 ヨハネ15・12～17

1. イエス様は先に弟子たちを愛してくださいました。だから、「わたしがあなたがたを愛したように」そのまねをして、愛し合いなさいと弟子たちに言いました。
2. イエス様は弟子たちのことを「しもべではなく友だ」と言われます。それで、弟子たちに命令して従わせるのではなく、弟子たちを信じて任せ、心の中を打ち明けたのです。
3. イエス様は、弟子たちの足を洗いました。それはイエス様がしもべのように弟子たちに仕える姿でした。
4. イエス様は十字架にかかりました。それは友と呼ぶ弟子たちのため、そしてわたしたちのためでした。
5. イエス様はそんな弟子を選んで愛して、愛の実を結ぶように、弟子たちを任命したのです。
6. 「互いに愛し合いなさい」というイエス様のことは、まず弟子たちの間で、教会の中で、愛し合いなさいということです。

※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大